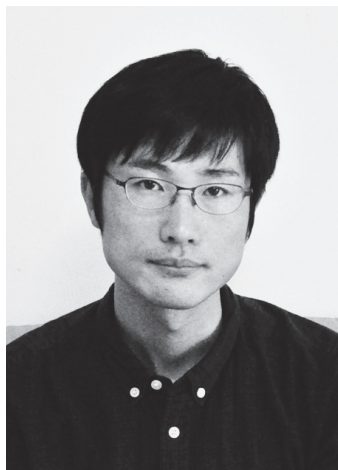


# ◆ 小説部門 当選作 ◆ 吾輩ハ猫ニナル

横山悠太



## 略歴

一九八一年八月岡山県生まれ。三十二歳。岡山城東高校卒業。留学生。北京在住。

## 受賞のことば

わたしは今、北京に住んでいます。PM2.5に日々悩まされています。親も心配しています。中国語では「霧霾」といいます。もちろん霧霾な天気は毎日ではありません。北京にだって青空が見える日はあります。この場を借りてその誤解を解きたいと思います。ただ、霧霾がはびこる時間が少しずつ増えていくのが気がかりです。気分も鬱屈しがちです。ですから、この度このような賞をいただくことができ、息をふきかえすような思いです。感謝いたします。

Q. 小説を書き始めたのはいつ、どのようなきっかけですか？

A. 2008年だったと思います。何か面白いものが書けそうな気がして、書き始めました。でも、その時は面白いものは書けませんでした。今作は2作目です。

Q. 群像新人文学賞に応募しようと思ったきっかけは何ですか？

A. 面白いものが書けたと思い、それが果たして評価されるのか、どんな評価をされるのか知りたかったからです。

Q. 受賞作を書いたきっかけ、この題材を選んだ理由を教えてください。

A. 今度こそ面白いものが書けそうな気がしたからです。この題材を使って小説を書くと、面白いものが書けるかもしれないと思ったからです。

Q. どいつい時間執筆していますか？ どんときにアイデアが浮かびますか？

A. 長期休暇の時です。カメラを持って散歩していると、ふと面白いアイデアが浮かぶことがあります。

Q. 好きな本（小説、評論）、好きな書き手（作家、評論家）を教えてください。

A. 夏目漱石の小説です。

Q. これから群像新人文学賞に応募する人へメッセージをお願いします。

A. 天生我材必有用 千金散尽還復來

—— 李白